

2002年12月20日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

**抗IgE抗体製剤「ゾレア®」の共同開発に関する合意について**

ノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都港区、社長：通筋雅弘）と三共株式会社（本社：東京都中央区、社長：高藤鉄雄）は、ノバルティス ファーマ株式会社が気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療薬として開発中の抗IgE抗体製剤「ゾレア®」（一般名：オマリズマブ）について、共同販売することを前提に、今後の日本における臨床開発を共同で行うことに合意しました。

「ゾレア」は、月1回または2回の注射により、アレルギー性疾患において中心的役割を果たす血中のIgE抗体の、マスト細胞等への結合を抑制する新しい画期的な治療薬として全世界から注目を集めています。

アメリカでは2002年12月に、気管支喘息の治療薬としてFDAに承認申請を提出しました。

現在日本ではPhase の段階にあります。

今回の契約については、ゾレアを中核製品として捉え、効率よく臨床試験を行い、早期に上市にこぎつけたいノバルティス ファーマとアレルギー領域の品揃えを強化したい三共のニーズが一致し、実現したものです。

両社が協力して臨床開発を行うことにより、できるだけ早く製品化し、今までとはまったく異なるアプローチにより、気管支喘息やアレルギー性鼻炎で苦しむ患者さんのQOLを改善することが期待されています。

なお、ノバルティス ファーマ社（スイス）は、世界各国でジェネンテック社およびタノックス社と共同で「ゾレア」の開発を進めています。

以上